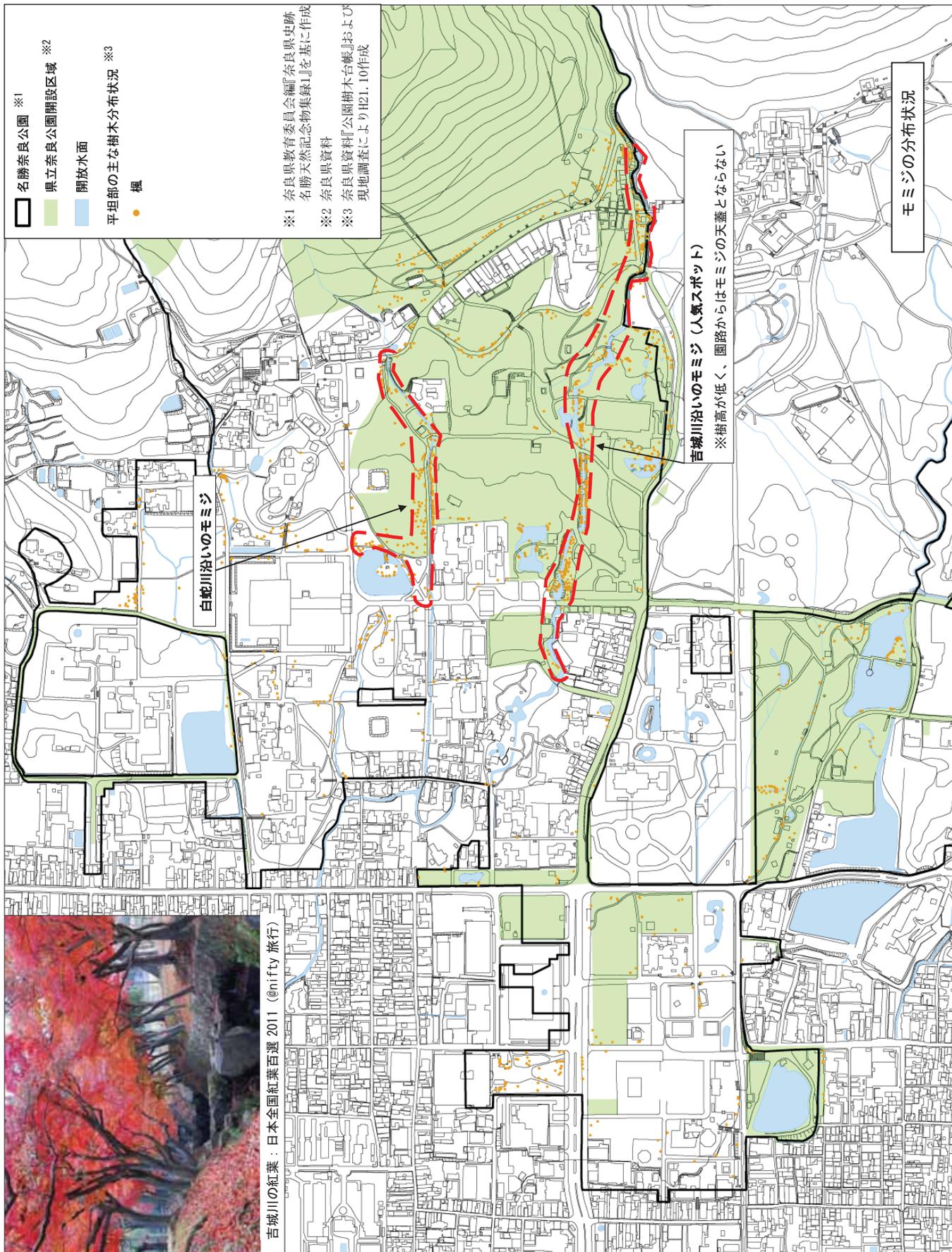
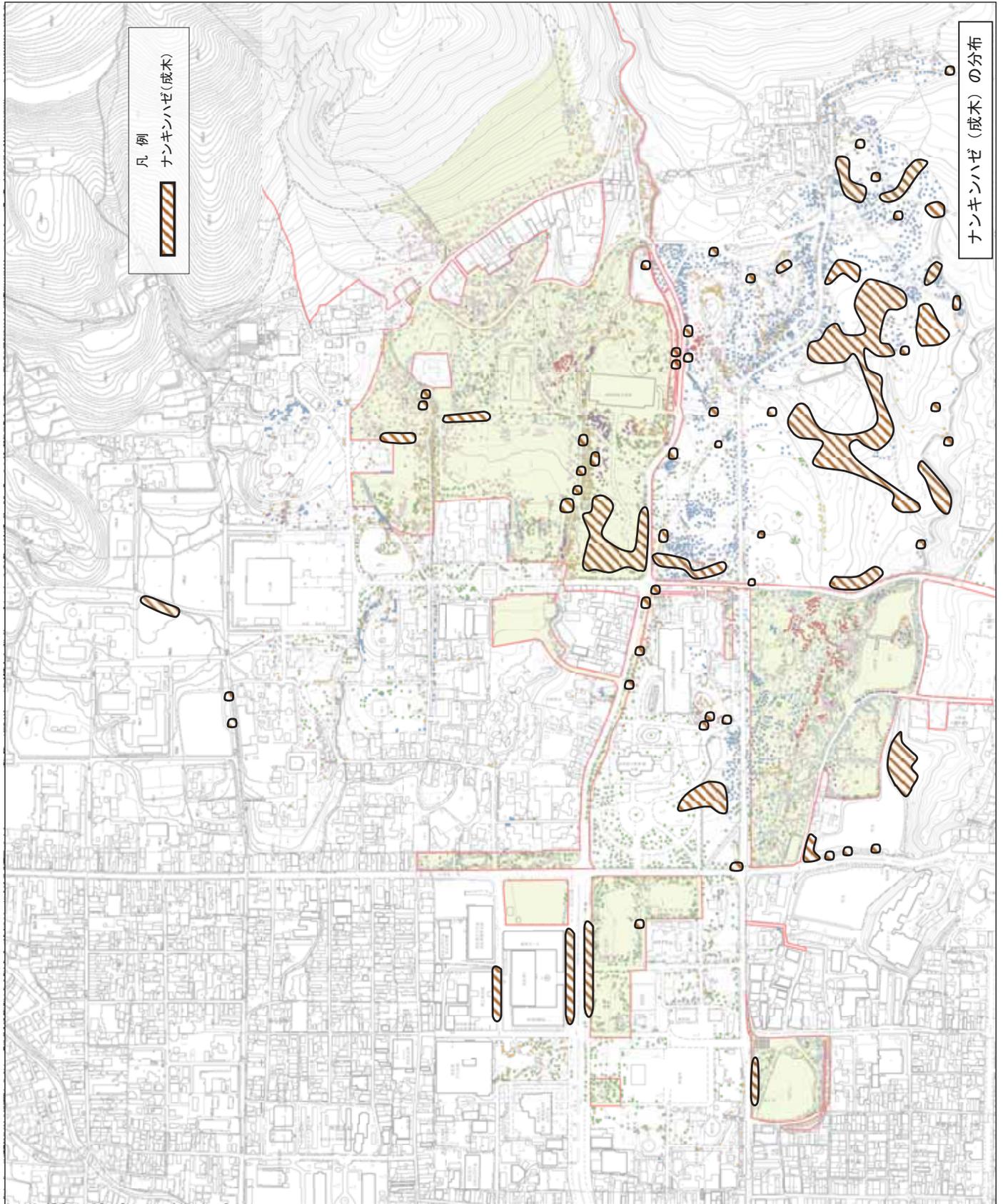




吉城川の紅葉：日本全国紅葉百選 2011 (@nifty 旅行)





## 2. 樹木等の調査

樹木等の調査は、景観に与える影響が大きい樹木の現状を把握することを目的として行う。

### (1) 景観木等

景観木として業務対象地内及びその周辺に位置する巨木や貴重木(いわれのある樹木)の現況を把握する。

#### 1) 景観木等の抽出

景観木等(巨木や貴重木)の抽出にあたっては、巨樹や巨木に関する文献や奈良市指定保存木等に掲載されている樹木のうち、業務対象地内及びその周辺に位置するものを抽出した。また、現地調査時に、景観木として特に目立つ樹木も任意で抽出した。

#### ●使用した文献等

「奈良公園の巨樹」 奈良市・巨樹に親しむ会、2008

「奈良の巨樹たち」 グリーンあすなら編、1998

「巨樹めぐり」

「奈良市指定 保存樹」

「表:主な名木・巨樹」 名勝奈良公園保存管理・活用計画, 2010

#### 2) 現地調査

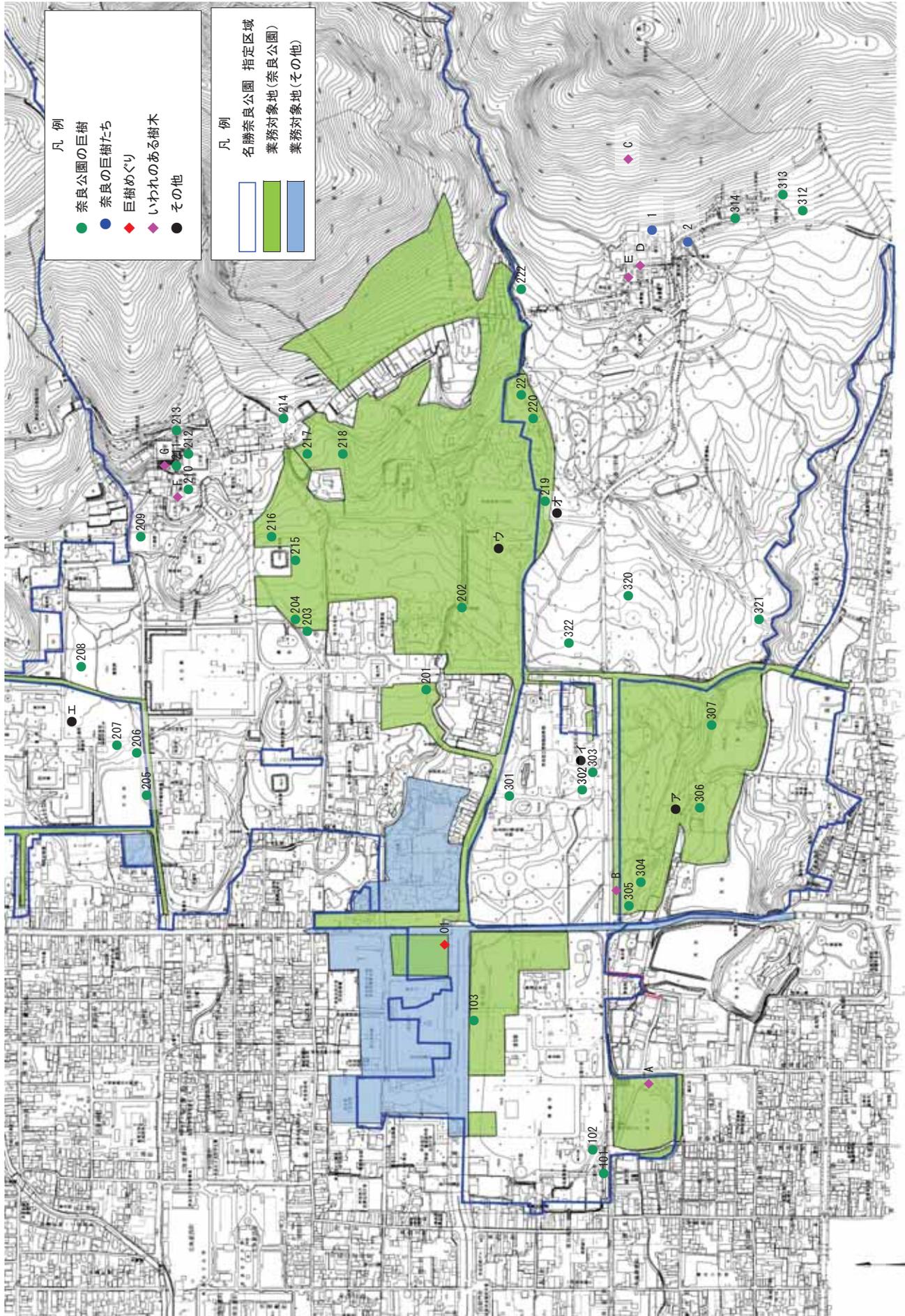
景観木等として抽出された樹木は、現地で位置確認を行い、樹木の現況を把握した。調査結果は、下表のとおりである。

景観木等の調査

番号	資料記載データ						現地確認時の所見	
	樹種名	名木名	樹高	幹周り	摘要	写真の有無	大径木・景観木としての評価	樹形・樹勢等 (無表記は良好)
奈良公園の巨樹:奈良市・巨樹に親しむ会、2008								
101	ムクノキ		25.0	6.5	株立ち	○	大径木として識別できる	
102	スダジイ		18.0	3.1		○	大径木として識別できる	
103	クロマツ		21.0	3.5		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
201	アカメヤナギ(奈良市指定 保存樹)		14.0	2.9		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
202	シダレヤナギ		6.0	2.1		○	景観木(大径木)とは言いがたい	剪定樹形
203	アラカシ		16.0	3.6			所在不明	
204	イヌマキ		12.0	2.6		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	強剪定
205	ナナミノキ		13.0	2.8		○	大径木として識別できる	
206	イヌシデ		17.0	2.3		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
207	イチヨウ		26.0	3.1		○	大径木として識別できる	
208	ナナミノキ		15.0	2.3		○	大径木として識別できる	
209	アカメヤナギ		15.0	4.4			所在不明	
210	ムクロジ		28.0	3.9		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
211	ナギ		9.0	3.0		○	大径木として識別できる。	強剪定
212	タラヨウ		7.0	1.6			所在不明	
213	カヤ		15.0	3.8		○	大径木として識別できる。	強剪定
214	オガタマノキ	手向山八幡宮のオガタマノキ	18.0	2.4			所在不明	
215	モミ		26.0	3.7		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
216	センダン		20.0	4.1		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
217	ムクノキ		28.0	5.0		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
218	コナラ		17.0	3.8			所在不明	
219	アカマツ		18.0	2.4		○	大径木として識別できる	
220	フジ		13.0	2.7		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	老木:傷み激しい
221	カラスザンショウ		15.0	1.4			所在不明	
222	ムクロジ		19.0	3.7		○	大径木として識別できる	
301	フジ		3.0	2.5		○	大径木として識別できる	
302	サイカチ		8.0	1.6			所在不明	
303	ムクロジ	春日大社参道のムクロジ	16.0	4.6		○	大径木として識別できる	
304	ヒノキ		20.0	3.4			所在不明	
305	イチイガシ		18.0	5.0		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
306	エノキ		18.0	7.6		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
307	ソメイヨシノ		8.0	3.3			所在不明	
312	イチイガシ	春日若宮のイチイガシ	24.0	5.0		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
314	クスノキ	春日若宮の大クス	24.0	11.5		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
320	クスノキ	飛火野のクスノキ	26.0	4.8		○	大径木として識別できる	
321	クスノキ		24.0	7.3		○	大径木として識別できる	
322	クスノキ		34.0	4.7		○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
奈良の巨樹たち:グリーンあすなら編、1998								
1	スギ	春日大社社殿の大杉	24	8.85		○	大径木として識別できる	
2	エノキ	春日若宮下のエノキ	17	5.02		○	枯死	枯死

景観木等の調査

番号	資料記載データ						現地確認時の所見	
	樹種名	名木名	樹高	幹周り	摘要	写真の有無	大径木・景観木としての評価	樹形・樹勢等 (無表記は良好)
巨樹めぐり:奈良市・巨樹に親しむ会,2010								
01	ナラノヤエザクラ		4.5	1.38		○	後継樹植樹	
いわれのある樹木(文化財等):名勝奈良公園保存管理・活用計画, 2010								
A	シダレヤナギ	衣掛柳	-	-	-	○	近年に代替樹木を植栽	
B	クロマツ	影向の松	-	-	-	○	平成7年(1995)枯死、後継樹植樹	
C	ナギ	ナギの原生林	-	-	-		同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
D	フジ	砂ずりのフジ	-	-	-	○	大径木として識別できる	
E	ワビスケ	ワビスケの巨樹						所在不明
F	ツバキ	糊こぼし椿	-	-	-	○	同等寸法の樹木が多く判別は容易でない	
G	スギ	良弁杉	-	-	-	○	7代目が昭和41年(1966)に枯死し、現代は第8代目	
H	エノキ	一里塚のエノキ	-	-	-		平成2年(1990)枯死	枯死
I	クロマツ	花の松	-	-	-		昭和12年(1937)枯死	枯死
その他								
ア	ケヤキ		-	-	-	○	近景におけるランドマークとしてふさわしい	
イ	クスノキ		-	-	-	○	遠景におけるランドマークとしてふさわしい	
ウ	モミノキ		-	-	-	○	近景～遠景におけるランドマークとしてふさわしい	
エ	イチイガシ		-	-	-	○	近景におけるランドマークとしてふさわしい	
オ	イチイガシ		-	-	-	○	大径木として識別できる	



- 凡例
- 奈良公園の巨樹
  - 奈良の巨樹たち
  - ◆ 巨樹めぐり
  - ◆ いわれのある樹木
  - その他

- 凡例
- 名勝奈良公園 指定区域
  - 業務対象地(奈良公園)
  - 業務対象地(その他)

景観木調査図

景観木調査写真



●101-ムクノキ(1/2)



●101-ムクノキ(2/2)

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



●102-スダジイ



●103-クロマツ



●201-アカメヤナギ(1/3)



●201-アカメヤナギ(2/3)



●201-アカメヤナギ(3/3)



●202-シダレヤナギ(1/2)



●202-シダレヤナギ(2/2)

景観木調査写真



●204-イヌマキ



●205-ナナミノキ

- 凡例(出典)
- 奈良公園の巨樹
  - 奈良の巨樹たち
  - ◆ 巨樹めぐり
  - ◆ いわれのある樹木
  - その他



●206-イヌシデ(1/2)



●206-イヌシデ(2/2)



●207-イチョウ



●208-ナナミノキ



●210-ムクロジ



●211-ナギ



●213-カヤ

景観木調査写真



●215-モミ



●216-センダン(1/2)

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



●216-センダン(2/2)



●217-ムクノキ



●219-アカマツ



●220-フジ



●222-ムクロジ(1/2)



●222-ムクロジ(2/2)

景観木調査写真



●301-フジ(1/2)

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



●301-フジ(2/2)



●303-ムクロジ(1/2)



●303-ムクロジ(2/2)



●305-イチイガシ



●306-エノキ



●312-イチイガシ(1/2)



●312-イチイガシ(2/2)



●314-クスノキ(1/2)



●314-クスノキ(2/2)

景観木調査写真

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



● 320-クスノキ (1/3)



● 320-クスノキ (2/3)



● 320-クスノキ (3/3)



● 321-クスノキ



● 322-クスノキ



● 1-スギ (1/2)



● 1-スギ (2/2)

景観木調査写真



●2-エノキ

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



◆01-ナラノヤエザクラ



◆A-シダレヤナギ



◆B-マツ



◆D-フジ



◆F-ツバキ



◆G-スギ

景観木調査写真



●ア-ケヤキ

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



●イクスノキ(1/2)



●イクスノキ(2/2)



●ウ-モミノキ



●エ-イチイガシ



●オ-イチイガシ(1/3)

凡例(出典)

- 奈良公園の巨樹
- 奈良の巨樹たち
- ◆ 巨樹めぐり
- ◆ いわれのある樹木
- その他



●オ-イチイガシ(2/3)



●オ-イチイガシ(3/3)

### 3) まとめ (暫定)

景観木に関する調査結果を踏まえて、景観木等の現況についてまとめる

- ・巨木として抽出された樹木の多くが樹林地又は樹木群の中に有り、単独樹木として意識されるものは少ない。このため景観的にはあまり目立たない。
- ・貴重木(いわれのある樹木)の過半は枯死しているが、一部後継樹が植栽されている。いずれも、あまり姿や大きさに特徴が無く、サイン等の表示によって理解できる状況である。
- ・本公園における景観木(景観的に重要で目立つ樹木)は、樹木の大きさだけでなく、配置や密度、樹形、周辺樹木との関係などによって左右される。
- ・抽出した景観木の多くは保存されているが、所在不明の樹木があり、これらは枯死したものの見られる。また、204イヌマキ、211ナギ、213カヤなどは、保存されているが大きく樹形が乱れている。

#### 景観木の評価についての検討課題

景観木調査は、「古木や名木、いわれのある樹木が衰退し、枯死している」という課題に対応するため、これらの樹木の現状を把握するための調査の一つとして実施している。ところが、調査の過程において、これらの樹木に対する評価基準の設定が難しいことが分かった。

例えば、幹は太く樹木が大きいと樹勢が衰え樹形が乱れている樹木があった場合に、その価値はどこにあるのか。樹木が大きいことに意味があるのか、樹齢が高いことに価値があるのか。それとも、樹木が大きいことや樹齢が高いことが景観を向上させていることに価値があると見なすのか。そうであるならば、樹木が大きく健全であっても、目立たないと価値は下がるものなのか。

これら景観木の評価は、景観木の保全対策検討の前提となることから、評価基準の設定について慎重に検討する必要があると思われる。

## **(2) 不良樹木**

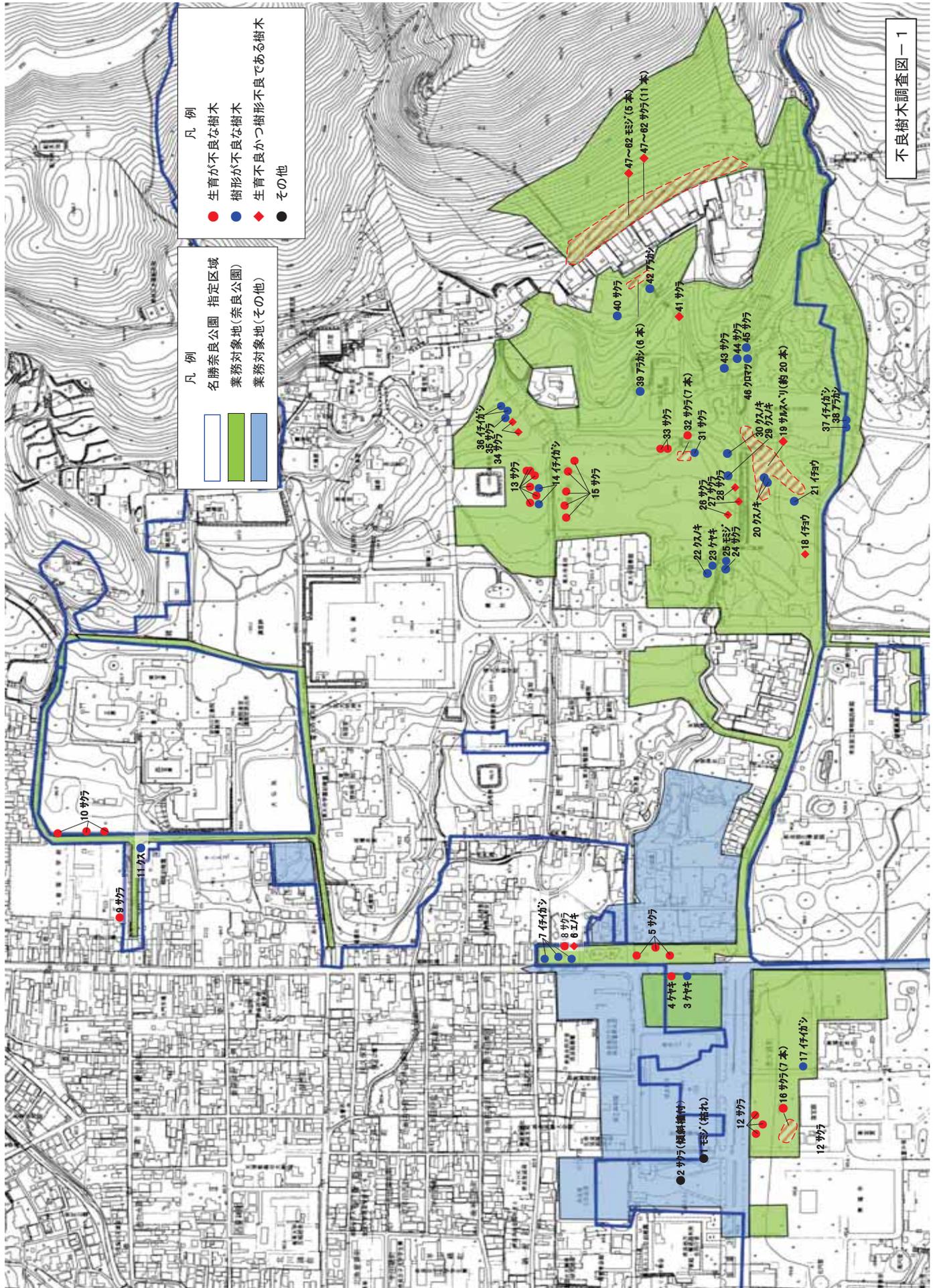
不良樹木として、業務対象地内において、植栽剪定や生育不良等により樹形や樹勢が悪化している樹木の位置、樹種、生育状況等を把握する。

### **1) 不良樹木の抽出**

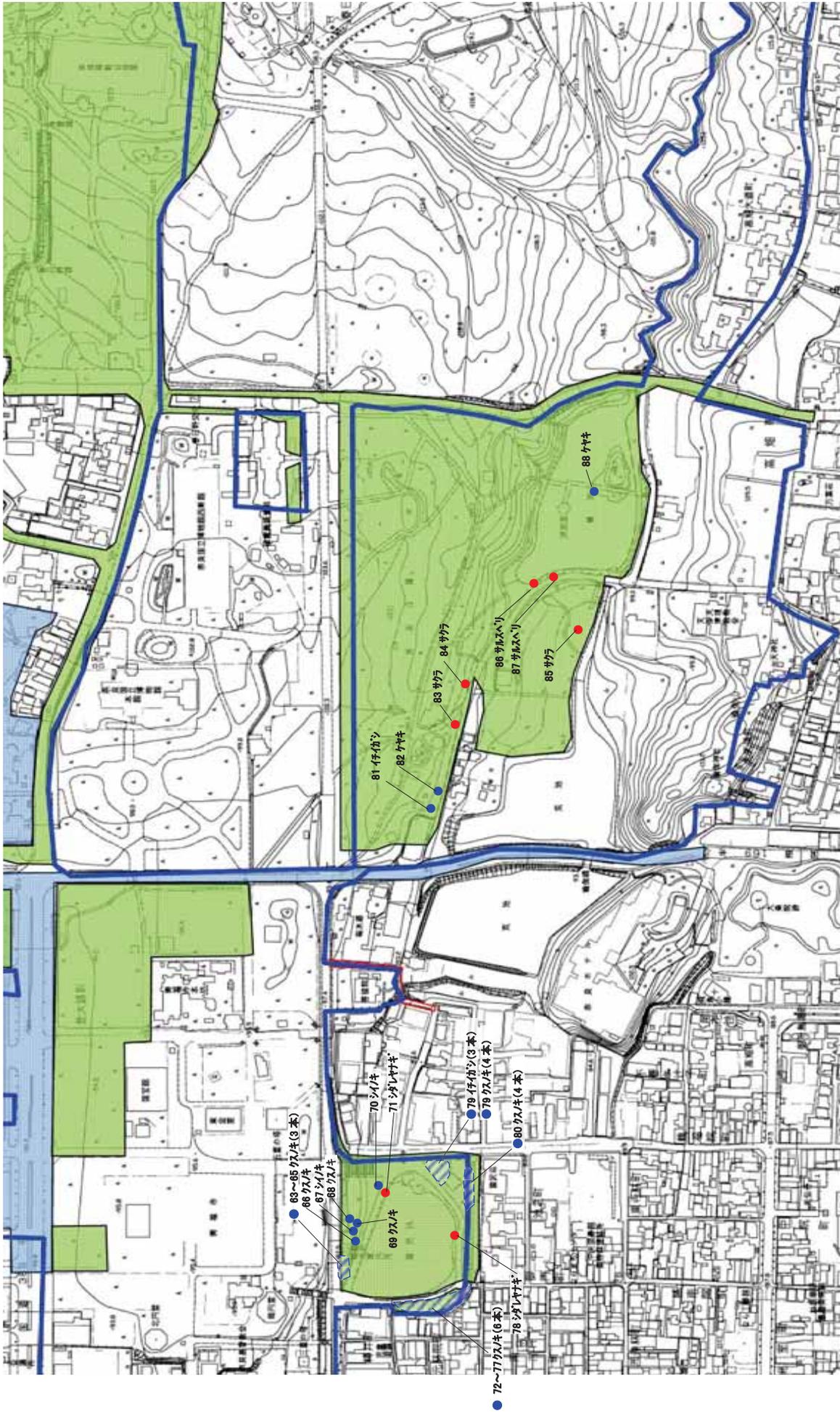
不良樹木の抽出は、景観木の現地調査時及び次項の景観調査の現地踏査時にあわせて、樹形や樹勢が悪化している樹木を探し、抽出した。

### **2) 調査結果**

不良樹木の調査結果は、下表のとおりである。



不良樹木調査図-1



- 凡例
- 生育が不良な樹木
  - 樹形が不良な樹木
  - ◆ 生育不良かつ樹形不良である樹木
  - その他

- 凡例
- 指定区域
  - 名勝奈良公園
  - 業務対象地(奈良公園)
  - 業務対象地(その他)



● 1 モミジ(枯れ)



● 2 サクラ(傾斜植付)



● 3 ケヤキ



● 4 ケヤキ



● 5 サクラ



同左



◆ 6 エノキ



● 7 仔イガシ



同左



● 8 サクラ



● 9 サクラ



同左



●10 サクラ



同左



●11 クス



●12 サクラ



同左



●13 サクラ



同左



同左



同左



●13 サクラ



同左



同左



●14 仔イガシ



同左



●15 サクラ



●15 サクラ



同左



●16 サクラ



●17 仔イガシ



◆18 仔ヨウ



同左



◆19 サルスベリ



同左



同左



同左



◆19 サルスベリ



同左



同左



同左



◆19 サルスベリ



同左



同左



同左



●20 クスノキ



同左



●21 イチョウ



●22 ケヤキ



●23 クスノキ



●24 サクラ



●25 モシゴ



◆26 サクラ



◆27 サクラ



◆28 サクラ



●29 クスノキ



●30 クスノキ



●31 サクラ



●32 サクラ



●33 サクラ



◆34 サクラ



同左



●35 サクラ



●36 仔イガシ



●36 仔イガシ



●37 仔イガシ



●38 アラカン



●39 アラカン



●40 サクラ



◆41 サクラ



●42 アラカン



●43 サクラ



●44 サクラ



●45 サクラ



●46 クロマツ



●47 モミジ



●48 サクラ



●49 サクラ



●50 サクラ



●51 サクラ



●52 サクラ



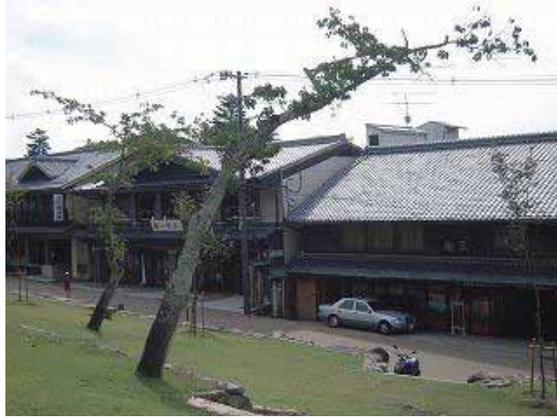
●53 モミジ



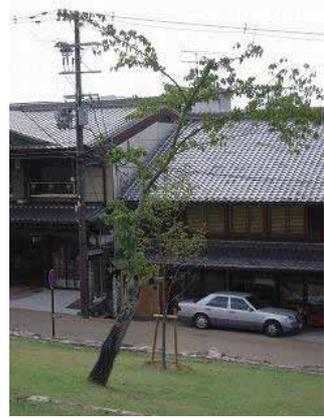
●54 モミジ



◆55 サクラ



◆56 サクラ



◆57 サクラ



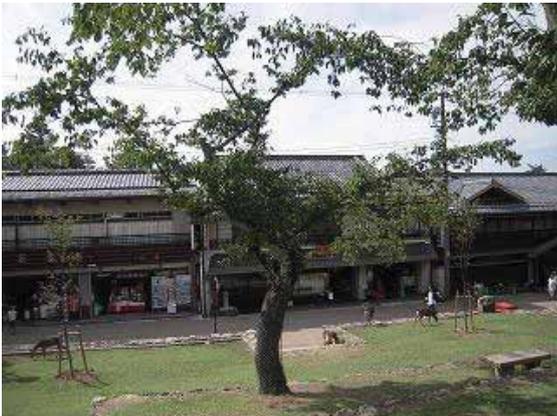
◆58 サクラ



●59 サクラ



◆60 モミジ



◆61 サクラ



●62 モミジ



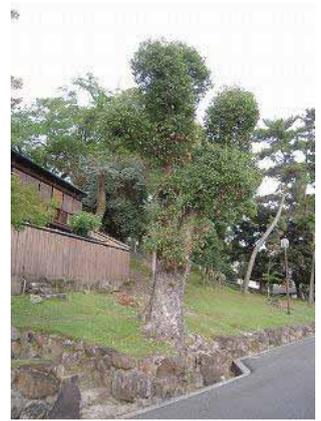
●63 クスノキ



●64 クスノキ



●65 クスノキ



●66 クスノキ



●67 シイノキ



●68 クスノキ



●69 クスノキ



●70 シイノキ



●71 シダレヤナギ



●72 クスノキ



●73 クスノキ



●74 クスノキ



●75 クスノキ



●76 クスノキ



●77 クスノキ



●78 シダレヤナギ



●79 イチガシ・クスノキ



●80 クスノキ(4本)



●81 イチガシ



●82 ケヤキ



●83 サクラ



●84 サクラ



●85 サクラ



●86 サルスベリ



●87 サルスベリ



●88 ケヤキ



●51 サクラ



●52 サクラ



●53 モミジ



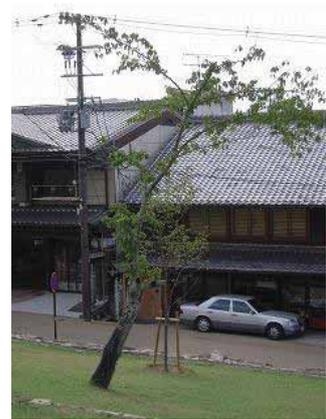
●54 モミジ



◆55 サクラ



◆56 サクラ



◆57 サクラ



◆58 サクラ



●59 サクラ



◆60 モミジ



◆61 サクラ



●62 モミジ



●64 クスノキ



●65 クスノキ



●66 クスノキ



●67 シイノキ



●68 シイノキ



●69 シイノキ



●70 クスノキ



●71 クスノキ



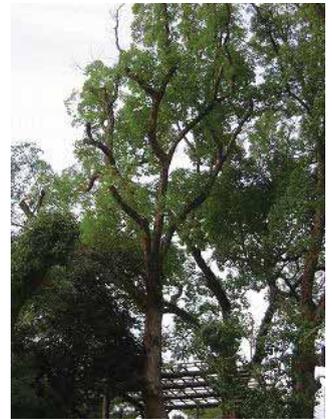
●72 クスノキ



●73 クスノキ



●74 シイノキ



●75 クスノキ



●76 クスノキ



●77 シイノキ



●78 シダレヤナギ



●79~84 クスノキ



●79 クスノキ



●80 クスノキ



●81 クスノキ



●82 クスノキ



●83 クスノキ



●84 クスノキ



●85 シダレヤナギ



●86 イチガシ・クスノキ



●87 クスノキ(4本)



●88 イチガシ



●89 ケヤキ



●90 サクラ



●91 サクラ



●92 サクラ



●同左



●93 サルスベリ



●94 サルスベリ



●95 ケヤキ

### 3) まとめ (暫定)

不良樹木に関する調査結果を踏まえて、不良樹木の現況についてまとめる。まとめにあたっては、次項「(3)関係者ヒアリング」の内容を勘案する。

- ・樹形が不良である樹種はイチイガシ、クスノキ、アラカシなどの常緑広葉樹が多く、これらの樹木は眺望確保や日照確保等の理由から強剪定したものが多く、また、民地と隣接している箇所の樹木は、建築物への枝掛りなどにより、樹種にかかわらず強剪定しているものがある。
- ・樹形が不良なサクラやモミジは、枯れ枝が発生した場合に剪定しているため、これらの管理作業を継続した結果、樹形不良となった可能性が高い。
- ・サクラは生育不良である樹木が多く、生育不良の原因は日照不足や土壌不良などが多いが、接ぎ木品種の特性（生育が遅く、罹病しやすい）も関わりがあると思われる。
- ・サルスベリは花付のために毎年枝剪定をしており、現状の樹形は植え付け当時の樹形のままである可能性が高い。
- ・猿沢池のシダレヤナギの生育不良は、現時点で原因不明。

### (3) 関係者ヒアリング

業務対象地の植物管理に関わる造園技能者等を対象に、樹木の生育上の課題や植物管理の考え方、作業上の課題等についてヒアリングを行った。

#### 1) ヒアリング概要

##### ① 平成24年9月21日 9時30分～

場 所：猿沢池五十二段 剪定現場にて  
回答者：奈良公園管理事務所 技能員(嘱託)  
質問者：空間創研 宇戸、佐々木、片木、  
立会者：奈良公園室 仲

##### ② 平成24年10月15日 13時30分～

場 所：奈良公園管理事務所 会議室  
回答者：奈良公園管理事務所 管理課主幹、主任技能員  
質問者：空間創研 佐々木、片木  
立会者：奈良公園室 仲

#### 2) ヒアリングの結果

##### ① 樹木の剪定について

###### ● 剪定作業の履歴について

- ・昭和53年以前は分からない。それ以降平成18年までは、隣接施設の苦情や枯枝等の事情がある場合以外には剪定は一切行ってこなかった。
- ・平成18年から数年にわたり、園内各所でイチイガシ等を主体に常緑広葉樹の強剪定を実施した。剪定の目的は、樹林が暗くなりすぎていることへの対応や眺望確保のためである。
- ・現在は、仕立物のマツとサルスベリの他、ウメ、フジ、ヤナギについては、定期的に剪定を実施している。その他は、隣接施設の苦情や枯枝等がある場合にのみ剪定を実施している。

###### ● マツ

- ・マツの剪定は、仕立物のマツをのみ定期的に剪定をしている。実施時期は、9～10月である。
- ・新公会堂庭園の眺望確保の試行試験として、幹切りを行った。

###### ● サクラ・モミジ

- ・サクラ、モミジについては、剪定は行っていない。
- ・サクラとモミジについては、枯枝が出た場合に枯枝処置を実施しており、その結果現在の樹形となっている。

### ●ウメ・ヤナギ・サルスベリ

- ・ウメ、フジ、ヤナギの定期剪定は、11月～12月に実施している。

### ●イチイガシ・その他常緑広葉樹類

- ・数年前に園内各所で強剪定を実施した。この際に、剪定方法について苦情や異論が発生したため、その後幹切り等の強剪定をできるだけ避ける工夫を行っている。但し、高さを相当に低くしないといけない場合や、民家に太枝が掛かる場合には、強剪定を選択せざる得ない場合もある。
- ・猿沢池では、周囲の宿泊施設等から眺望確保のためや施設を覆う枝の除去の要望が有るので剪定を行う機会が多い。

### ●ナンキンハゼ

- ・ナンキンハゼの剪定を行ったことはない。

## ②樹木の植付け・生長等について

### ●マツ

- ・マツの枯死原因は、99%がマツクイムシ被害である。風倒したものもあるが、これまでの記憶にあるもので4～5本である。（勤続約30年）
- ・マツクイムシの薬剤防除(マツガード)は、全てのマツを実施するだけの予算が無いので、重要と思われる樹木を優先して実施している。簡単にいうと、登大路から南大門にかけて位置しているマツの大径木が優先される。活力剤等の注入は、行っていない。
- ・国立博物館は全く薬剤防除していないので、被害の蔓延が気になりである。今年、登大路の1本が被害を受けたが、径の細い防除対象外樹木のようなのである。

### ●サクラ

- ・サクラの品種は、いろいろな物が混在している。分かるものとしては、春日野園地はほぼソメイヨシノであり、浮見堂の北側護岸沿いのサクラもソメイヨシノのである。ほかは、混在している。ココノエザクラは、新公会堂の庭園にある。その他園内にはフゲンゾウがある。
- ・エドヒガンは、東塔跡や新公会堂の園地にあるのではないか。そのほか、若草山の頂上北の千本桜はエドヒガンである。一時、圃場で山採り苗を育苗をしたことがある。
- ・サクラやウメについては、概ね内業で植栽している。内業で植栽するサクラのうちナラノヤエザクラは、圃場で生産した7～8年物の苗木を使用している。
- ・ナラノヤエザクラは挿し木により生産をしている。年間200本挿し木をしているが、年によって活着率が大きく異なり、近年は成績が悪い。標準的には年間100本程度生産できていたが、そのうちの何割かは奈良公園以外の公共施設に配布されている。
- ・ナラノヤエザクラは、園芸品種で一般のサクラに比べて成長が遅く、病気に弱い傾向がある。
- ・サクラの枯死本数は、年間7～8本程度ではないか。枯れてはいないが、衰弱しているサクラは多い。特に、春日野園地のサクラは生育が悪い。原因としては、日照不足、植栽、有効土層が薄いことが考えられる。日照不足は、樹木密度が高すぎることも一因として

ある。春日野園地のトイレ前のサクラは、下にコンクリート盤が残っており、土壌の厚みが30～40cm程度しか無い。春日野園地の生育状況では、北側が特に悪い。これは、夏の日差しが桜の根元まで当たり、乾燥が激しいためではないか。南側は、地形と他の樹木の日陰で北側より良い条件にある。

- ・サクラの生育不良に対処するため、一部後追いで土壌改良(樹木の周りを筋堀してバーク堆肥+パーライトを埋設)を行ったが全く効果がみられなかった。

#### ●モミジ

- ・モミジについては、枯死することは無い。

#### ●サルスベリ

- ・新公会堂の前のサルスベリは、仕立物として、大きな花房をつけるように剪定をしている。一部に自然樹形のものもある。

### ③ナンキンハゼの対処について

- ・ナンキンハゼの成木の伐採を行ったことは無い。ナンキンハゼの成木は、伐採すると根株や根系からひこばえが次々に上がってくる。
- ・平坦部では、年二回ナンキンハゼの実生苗を手で引き抜くようにして除去している。手で引き抜けないものは、クワで起こしている。初回は8～9月で、7人体制で10日間かかる。11月に再度芽が出てきたものを除去している。
- ・若草山の斜面地では、草刈り機で刈り取っている。これも同時期に2回実施しており、5人体制で20日くらい掛かる。ナンキンハゼの草刈りは、ナンキンハゼの樹液でかぶれることが有り、大変な作業である。

### ④その他の管理作業

#### ●落ち葉掃除

- ・管理作業で最も大変な作業は、落ち葉掃除である。マツ、クス、カシの落葉を対象に3～6月に、ナンキンハゼ、イチョウなどの落ち葉を対象に11月～12月にかけて行う。年間5か月間実施している。サクラやモミジの落ち葉は、シカが食べている。
- ・落ち葉の量は、総量4トンのコンテナ100台にもなる。

#### ●台風等の後片付け

- ・台風の後片付けは、総員で1日程度で対処するが大変な作業となる。平成10年の台風時は、片付けに2ヶ月間かかった。

#### ●山焼き準備

- ・山焼きの準備として、2月に松明づくりを行っている。

#### ●剪定作業

- ・現在の作業量はたいしたことは無い。

### 3. 景観評価

景観評価は、調査範囲の景観における植栽の役割を把握することを目的として行う。公園の魅力向上を目指す観点から、“魅力ある景観”や“改善すべき景観”に着目する。

#### (1) 景観変化の把握

絵はがきや写真等を参考にして、過去と現在の植栽及び景観の変化を把握する。絵はがきや写真等の資料は、「平成21年度 名勝奈良公園保存管理・活用計画策定検討業務 平成22年3月」より引用する他、インターネット上で公開されている写真等を加える。

##### ●出典について

※：個人HPに掲載されている資料（転載注意）

◎：入江泰吉

『入江泰吉古都の暮らし・人 ―昭和20年から昭和30年代』（2005）

『昭和の奈良の大和路 昭和20～30年代』（2012）